

コミュニティ・スクールだより

No1

地域学校協働活動の様子

地域の住民や団体の皆様の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えていただいております。どの取組みも、地域との“つながり・きずな”が実感できるものです。本号より令和6年度活動の様子を紹介してまいります。

交通安全（登下校の見守り活動）

令和6年4月8日、満開の桜の中、118名の一年生が入学してまいりました。数日たってある子が、「クラスの中で、ともだちたくさんできたよ」と嬉しそうに話しかけてくれました。一年生の子供たちにとって、学校での出来事は何もかもが新鮮で楽しく思っている時期ではないでしょうか。

今年度も新学期早々から、交通指導員さん、民生児童委員さん、見守り隊や保護者の皆様などたくさんの方々には、一年生の子供たちだけでなく、全校の子供たちに対して“安心・安全のためのサポート”をしていただいております。校区には、交通量の多い場所や人通りの少ない場所もあります。皆様のおかげで子供たちが安心かつ安全に登下校することができております。本当にありがとうございます。

学校の方でも周辺部の交通実態に応じて、危険箇所の把握、登下校の指導・交通安全指導、また不審者に関する情報提供や対応指導などをしてまいります。見守り活動にかかわっていただいている皆様、1年間どうぞよろしく願いいたします。



学校と地域をつなぐ（コミュニティ・スクール連絡会）

今年度も昨年度に引き続き、校長、教頭、地域学校協働活動推進員、コミュニティ・スクール推進員の4名の参加で、月1回『コミュニティ・スクール連絡会』を計画をし、先日第一回目の連絡会を開きました。

地域と学校が“連携・協働”していくということは、お互いの活動内容や立場を理解して役割を分担するということであり、学校のなすべきことは、地域の声を聞き地域の未来を見据えた教育活動を行っていくことだと考えています。そのためには、地域の子供たちの成長を支えていく学校づくり・地域コミュニティづくりを目指して、それぞれが行う活動やイベントについての情報を交換し、それらを有機的につなげることでできる話し合いが必要だと考えます。昨年も地域学校協働活動推進員さんには、学校と地域の最初のつなぎの役をお願いし、それぞれが円滑にパートナーとして“連携・協働”できるよう、働きかけを行っていただいております。

学校には、地域の方々（地域住民・PTA・社会教育団体・地域自治会組織・NPO・民間企業など）に入ってもらうことで実現できることが幾つもあります。地域の皆様には、地域学校協働活動推進員や学校職員が、地域学校協働活動へのご支援ご協力をお願いをしました折には、その旨ご理解いただければ幸いです。